

## カウンセリング相談事業(午前)【東京都立川市】

個別事業費	238 千円
交付金額	119 千円

## 地域の実情と課題

立川市は多摩地域の交通要衝としてJR立川駅を中心に商業地域が広がっており、仕事を持つ女性が50%程度となっている統計データもある。これまでカウンセリング相談事業を週3日の午後に行っているが、子どもが幼稚園や小学校に通っている時間帯に相談したいとの要望や、働く女性からは昼休みを利用して相談したいとの声もある。

## 目的・目標

目的：女性が安心して子育てや仕事ができる立川市を目指し、子育て世代及び働く女性の要望に応えるため事業拡充を図る。  
目標：カウンセリング相談者数の目標420人に対し、433人となり103.1%の達成率となった。カウンセリング相談に占める配偶者等からの暴力に関する相談件数の割合は目標10%に対し18.2%という結果となった。

## 事業の特徴

日常生活における不安や悩みごと、生き方等について、専門相談員が悩みなどを整理したり、解決のための糸口を探すお手伝いをしている。1枠45分の相談時間で相談員は臨床心理士や女性相談経験者、事前予約制。  
これまで相談時間は午後となっていたが、子育て中の方や、働く女性の要望に応え、月2回午前の枠を増設して実施している。

## 連携団体

女性総合センター登録団体  
東京都ウィメンズプラザ  
東京都女性相談支援センター多摩支所

## 事業の効果

男女平等推進課で実施したアンケート結果によると、男女間の暴力防止には、身近な相談窓口の拡充が求められており、女性総合センターで実施しているカウンセリング相談事業の認知度は向上している。相談時間帯を増やしたことで、より多くの市民の悩み事等に寄り添うことができた。また、予約受付に電子受付を追加したことにより、前日まで予約が可能となり、より多くの相談を受けることにつながった。

## 今後の課題

男女平等推進課で実施したアンケート結果によると、相談しやすい環境整備が求められている。安全やプライバシーの確保、保護機能の強化、SNS等の活用など、様々な視点での体制強化が求められている。  
対面での相談希望が多いことから、電話相談から対面相談への移行を図る。

## 【東京都立川市】カウンセリング相談事業

### ひとりで悩んでいませんか？

どこへ相談したらいいかわからない…

誰に相談したらいいかわからない…



毎日の生活の中で

苦しいこと

困っていること

どうしたらいいかわからないこと

などを

ひとりで悩んでいませんか？

そんな時は気軽に

相談してください

話してみることで

解決の糸口が見つかることが

あるのです

あなた自身の生き方のこと

男女・夫婦関係、家族のこと

職場や近隣のこと

子育てや介護に疲れたとき

心身のこと

不安なとき

LGBTQ+に関すること

一人で悩まないで  
相談をしてみましょう！

カウンセリング相談  
(面談)



火曜日・水曜日 午後1時～午後5時

木曜日(第2・第4) 午前10時～午後2時

土曜日(電話のみ) 午後1時～午後5時